

別紙 1：令和9年度新卒採用技術職・業務分野及び主要拠点一覧

分類	業務分野	No.	関連拠点名	勤務地(採用時予定)
A	研究開発拠点における技術開発分野 ・原子炉・加速器等に関する運転・保守 ・廃止措置及び廃棄物処理・処分 ・燃料製造・再処理技術開発 ・放射性物質等の分析・解析・評価 ・原子力災害対策に係る業務 など	1	福島廃炉安全工学研究所	福島県（大熊町）
		2	原子力安全・防災研究所	茨城県（ひたちなか市）
		3	原子力科学研究所	茨城県（東海村）
		4	J-PARCセンター	茨城県（東海村）
		5	大洗原子力工学研究所	茨城県（大洗町）
		6	核燃料サイクル工学研究所	茨城県（東海村）
		7	人形峠環境技術センター	岡山県（鏡野町）
		8	青森研究開発センター	青森県（むつ市）
		9	敦賀拠点（ふげん・もんじゅ・敦賀総合研究開発センター）	福井県（敦賀市）
		10	埋設事業センター	茨城県（東海村）
		11	新試験研究炉推進室	茨城県（東海村） ※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県(敦賀市)」に移転する可能性があります。
B	安全管理、放射線管理、核物質管理に関する技術開発分野 ・従業員の安全管理、事故時の緊急対応 ・環境・施設モニタリング、個人線量管理、放射線計測器の校正 ・核セキュリティ管理、計量管理、保障措置		安全・核セキュリティ統括本部	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
C	核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・原子力人材育成支援分野		核不拡散・核セキュリティ総合支援センター	茨城県（東海村）
D	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野 ・D-1 建設に関する分野 ・D-2 ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野		建設部	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町） 福井県（敦賀市） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
E	基幹情報システムの運営・技術開発分野 ・システム計算科学センターでのシステム業務		システム計算科学センター	茨城県（東海村）
F	・F-1 研究開発力強化のための支援・研究開発成果の社会実装分野 ・F-2 原子力科学技術情報の管理及び分析・研究開発推進によるイノベーションの創出に関する業務 ・F-3 軽水炉研究分野におけるプロジェクトマネジメント分野		研究開発推進部	茨城県（東海村）

全体75名程度

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
A-1	関連拠点名	福島廃炉安全工学研究所
(2) 業務概要	<p>福島廃炉安全工学研究所では、東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所（以下、1Fという）の廃炉と福島 環境回復に向け、燃料デブリ取り出し等の技術的に難易度の高い廃炉工程の安全、確実、迅速な推進及び、 安心して生活する環境の整備に必要な様々な調査・研究開発を実施しています。</p> <p>①燃料デブリや放射性廃棄物の分析やそのための技術開発。機械、電気、放射線管理等、施設・設備の運用・管理 ②燃料デブリ、構造物、放射性廃棄物、ダストなどの性状把握と保管・管理時の挙動評価に係る技術開発 ③環境モニタリングに係る計測、データ処理、被ばく評価などに必要となる技術開発 ④遠隔操作ロボット技術（自動巡視、自動3Dモデル化、操作シミュレーション等）やデジタル技術 （フィジカルAI、インタラクティブVR等）を活用した様々な技術開発</p>	
(3) 求める人物像	<p>○「高い使命感」×「俯瞰力・応用思考」×「挑戦と協調」 1F廃炉や環境回復に「高い関心」と「強い使命感」を持ち、主体的に取り組む人物 単一分野にとどまらず、全体を俯瞰できる広い視野を持ち、社会実装・貢献を見据えた思考力のある人物 困難な課題に対して果敢に取り組むチャレンジ精神と、内外との円滑なコミュニケーションが図れる、協調性のある人物</p>	
(4) アピールポイント	<p>①社会的な意義の高さ 1F廃炉・福島復興という日本のエネルギー政策・環境安全に直結する国家的なプロジェクトに従事することにより、 安全な未来を創るという使命感を持ち、社会に大きく貢献することができます。</p> <p>②最先端技術と施設・設備 燃料デブリや放射性廃棄物分析、放射線計測・可視化、遠隔操作・環境モニタリング、AI・データ解析など、 高度な技術と研究施設に直接関わることができます。</p> <p>③専門性とキャリア形成 国内外の大学・研究機関との共同研究や国際会議参加の機会もあり、グローバルなキャリア形成が可能です。</p> <p>④地域貢献と社会とのつながり 福島復興に直接貢献できる仕事であり、地域イベントや教育活動を通じて、社会との接点を持ちながら 働くことができます。</p>	
(5) 勤務地 (採用時予定)	福島県（大熊町、南相馬市、楢葉町）	
(6) 関連分野	<p>理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：</p>	
(7) 関連するHP	<p>https://fukushima.jaea.go.jp/ https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/</p>	

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	A-2 関連拠点名	原子力安全・防災研究所
(2) 業務概要		原子力機構では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい原子力災害対策の考え方に基づき、発災時の対応にあたる国や地方公共団体に対して人的・技術的支援を実施しています。 本分野では、災害発生時における放射線モニタリング技術開発や住民避難の効率化に係る研究開発、国や地方公共団体の防災関係者への研修など、原子力災害対策の高度化を目指した業務を幅広く行っています。
(3) 求める人物像		原子力防災や災害対策に意欲的に取り組む方、住民や社会への貢献を志す方を募集します。
(4) アピールポイント		原子力に関する緊急時には国の意思決定や地方公共団体の住民避難等を支援する重要な役割を担います。 また平常時には、我が国の原子力防災の実効性向上に資する技術開発を進めており、成果の一部は国のマニュアル等に反映されるなど社会貢献を実感できます。
(5) 勤務地 (採用時予定)		茨城県（ひたちなか市）
(6) 関連分野		理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
(7) 関連するHP		https://www.jaea.go.jp/04/shien/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
A-3	関連拠点名	原子力科学研究所

原子力科学研究所では、2050年カーボンニュートラル社会の実現を目指し、国内でも他に類を見ない原子力基盤研究施設を最大限に活用し様々な研究開発を推進しています。社会にとってさらに価値のある研究成果を創出するため、高度な専門技術者として研究所の活動を根幹から支え、発展させるための人材を募集します。

- (2) 業務概要
- ①試験研究炉（JRR-3、NSRR）、タンデム加速器施設、臨界実験装置及びホット試験施設の運転管理・保守管理・技術開発を行います。また、原子力はもとよりその他の幅広い分野の専門性を活かして、試験研究炉JRR-3の利用性能の向上（中性子強度の増強、医療用RIの増産など）に向けた技術開発を行います。
 - ②放射性廃棄物の減容安定化処理・保管管理、分析・測定及び使命を終えた原子力施設の廃止措置及び技術開発を行います。また、将来のバックエンド対策を推進する技術開発を行います。
 - ③放射性廃棄物を有用な資源に変えることを狙いとした技術開発を行います。具体的には、白金族・レアメタル等の希少元素を分離する技術、分離した放射性元素を熱源や電池として活用するための技術開発や医療用に利用される放射性核種や半減期の長い放射性核種を効率的に分離する技術開発を行います。また、ホット施設での試験を安全に実施するための技術開発や運転管理を行います。
 - ④BECKYのTRU-HITECにおける技術開発支援を行います。具体的には半永久電池用RI熱源の開発等を実施します。また、当該設備・装置を中心としてホットセル・GB等の維持管理業務も行います。将来的には核燃料やRIの取扱習熟を経て、これらの管理を担っていただきます。

- (3) 求める人物像
- ・ユニークな研究開発基盤を支える専門技術者を目指し、自身の専門分野への探求を深めるとともに、それ以外の知識・技術の習得にも意欲的に取り組める方。
 - ・組織全体における自身の役割を認識し、個人能力を最大限に発揮して、目の前の課題解決に主体的にチャレンジしようとする意思のある方。
 - ・自身の所属する組織の枠を越え、他の組織のメンバーとも積極的にコミュニケーションを図りながら、同じ目標に向かって一丸となって取り組むことができる方。
 - ・原子力技術や他の技術を組み合わせ、原子力の新たな価値創造を目指し、社会課題解決に向けて「何をすべきか」を共に考えられる方。

- (4) アピールポイント
- 原子力科学研究所は、「放射性物質の再資源化」「リニューアブル社会への貢献」「医療用RIの製造」「原子力施設の更なる安全性向上」を4本柱として、原子力の基礎・基盤から物質科学、先端基礎科学まで多岐にわたる研究分野において原子力利用と科学技術を支える国内唯一の研究所です。原子力は発電に留まらず様々な研究分野で活用することができます。原子力の可能性をさらに発展させ、夢のある社会を共に実現させましょう。

- (5) 勤務地
(採用時予定)
- 茨城県（東海村）

- (6) 関連分野

理学系： ☒ 数学・情報 ☒ 物理 ☒ 化学 ☒ 生物・農学 ☒ 地学・地球科学 ☒ 量子科学

工学系： ☒ 機械・システム工学 ☒ 電気・電子 ☒ 材料 ☒ 土木建築 ☒ 環境工学 ☒ 原子力工学

その他：

- (7) 関連するHP
- <https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/>

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A (1)業務分野名 研究開発拠点における技術開発分野

A-4 関連拠点名 J-PARCセンター

大強度陽子加速器施設J-PARCは、約65万平方メートル（東京ドーム14個分）の広大な敷地を有する世界有数の研究拠点で、物質中の原子・分子の構造を解明して物質や生命の起源を探る研究や、素粒子・原子核の研究を通じて宇宙の始まりの謎に迫るなど、最先端の研究が進められている。

(2)業務概要

①大強度陽子加速器及び付随する実験施設において放射線管理業務（放射線管理設備の維持管理を含む）に従事する。加えて、世界最高クラスの強度の陽子ビームによって生み出される多種多様な放射性核種と放射線に対する防護に関する技術開発、放射線管理設備の高度化を目指した開発に従事する。
②加速器機器の性能向上や新たな運転手法の検討などを進めながら、定格ビームパワー1MWでの安定かつ高稼働率運転を目指すとともに、将来の加速器ビームパワー増強に向けた新技術の開発にも取り組んでいる。
③J-PARCセンターの核破砕中性子源は、大強度陽子加速器により加速された陽子ビームにより、世界最高クラスのパルス中性子ビームを発生させ、中性子実験装置群に供給する施設であり、物質科学、生命科学の広範な分野で最先端の研究に寄与している。核破砕中性子源に関して定期的に必要な標的容器等の交換機器の製作、運転に必要な不可欠な冷却水やガスの供給・循環・処理設備の維持管理、高放射化物を取り扱うための遠隔操作設備等の運転・維持管理、そして、これらの機器の機器の高度化開発の業務のいずれかに従事する。具体的には、標的容器等の製作発注、設備の維持管理・運転・故障対応、交換計画立案や作業管理をいずれかを行いつつ、標的容器設備の安定化や運転・作業の省力化、性能向上などの機器の開発を行う。

(3)求める人物像

①J-PARCは広大な敷地に多様な加速器施設（3施設）と実験施設（3施設）を有しており、約3千人の放射線業務従事者がいる。それに対応した放射線管理業務と技術開発を進めるためには、J-PARCが有する多様な施設群に関する知識・情報をコミュニケーション等により進んで求めるとともに、自分のこれまでの専門性を越えたより広範な学問分野の知識を吸収することが必要である。そのような積極的かつ意欲的な人材を求める。
②加速器は、ビーム発生装置、高周波源、直流・パルス電源、真空技術、ビーム診断および制御など、多様な技術の集合体である。このような分野における技術開発や利用経験を有する方はもちろん、未経験であっても意欲的に取り組める方を歓迎する。
J-PARC加速器の運営は多くの専門家との協働によって支えられているため、専門性を活かすだけでなく、協調性を持ち仲間と協力しながら積極的に業務に取り組める方を求める。
③本核破砕中性子源は、放射線に関わる知見が必要で、多岐に渡る様々な機器から構成されており、対象となる設備に関する専門的な知識が必要とされることに加え、他の設備の知識も必要となるため、自ら探求する心と新たな知見を積極的に取り込む意欲を持ち、業務に真面目に、かつ意欲的に取り組む人材を求める。

(4)アピールポイント

①J-PARCでは、放射線管理業務全般について高いレベルで習得できるとともに、新たな知見の発見や新しい技術創生を可能とする環境が揃っている。学会や学術論文での発表も積極的に行っており、学会賞を受賞する等、国内外でのコミュニティーでも活躍している。
②ここには、世界トップレベルの加速器をさらに進化させるために挑戦的な課題に取り組み、社会に貢献できる成果を創出するやりがいのある環境がある。加速器は多様な技術の集合体であるため、幅広い分野の技術開発に携わりながら、自身の技術力や知識を磨くことができる。さらにJ-PARCでは、国内外の技術者との情報交換や、海外出張による成果報告の機会も多く、グローバルに活躍できる舞台が整っている。
③本核破砕中性子源は、その特殊性から、国際的な協力が多いため、国際的に活躍する機会が多い。また、専門的な知見に加え、広範な分野の知見に接する機会が多い。業務に必要な必要な資格や技術の取得を積極的にサポートする。

(5)勤務地
(採用時予定)

茨城県(東海村)

(6)関連分野

理学系: ☒ 数学・情報 ☒ 物理 ☒ 化学 ☐ 生物・農学 ☒ 地学・地球科学 ☒ 量子科学

工学系: ☒ 機械・システム工学 ☒ 電気・電子 ☒ 材料 ☐ 土木建築 ☐ 環境工学 ☒ 原子力工学

その他:

(7)関連するHP

<https://j-parc.jp/c/>
<https://mlfinfo.jp/ja/facility/sources.html#23072ac4>

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	A-5 関連拠点名	大洗原子力工学研究所
<div>(2) 業務概要</div> <p>当研究所はカーボンニュートラルと持続可能なエネルギー安定供給の実現に向け、次世代革新炉の技術開発を進めています。世界でも貴重な高速炉「常陽」を活用した資源有効利用やがん治療に用いる医療用放射性同位体の生産技術及び燃料サイクル技術、900℃以上の高温熱を取り出せる高温ガス炉「HTTR」を活用した水素製造技術、多様な原子力研究施設の廃止措置や、放射性廃棄物を減らすための技術開発などを推進しています。皆さんの多様な視点と専門性が新しい可能性を拓きます。採用後は、技術系職員として下記の業務領域を通じ、新たな価値創造に力を発揮していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">○次世代革新炉である高速炉及び高温ガス炉に関する技術開発○「常陽」に関わる技術開発（炉心設計、安全評価、照射試験技術の開発等）○燃料サイクル技術開発（燃料製造及び再処理関連）○実験機器及び実験に必要な設備の開発・運転○廃止措置技術、放射性廃棄物処理処分に係る技術開発、施設維持管理、核物質防護及び保障措置に係る設備整備等○研究所の基幹施設や試験施設の整備（設計製作、施工管理、運転・保守管理）○国際協力、企画、プロジェクト管理、行政機関対応等 <p>主要プロジェクトの一覧については、こちらをご覧ください。</p> <p>（なお、一部の業務は、核燃料サイクル工学研究所勤務の可能性があります）</p>		
<div>(3) 求める人物像</div> <p>○技術者としての能力に加えて、創意工夫とチャレンジ精神をもって、自ら、専門分野外に対しても技術の深さと広がり伸ばすことができる人材。</p> <p>○様々なステークホルダーの期待や要望に耳を傾け、共に研究開発を進められるコミュニケーション能力とバイタリティのある人材。</p>		
<div>(4) アピールポイント</div> <p>次世代革新炉を中心に幅広い技術開発と、その社会実装に向けた取り組みができます。豊富な学びの機会を通じて、エネルギー技術の発展と自身の成長を両立できるやりがいのある環境です。</p>		
<div>(5) 勤務地 (採用時予定)</div> <p>茨城県(大洗町)</p>		
<div>(6) 関連分野</div> <p>理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：</p>		
<div>(7) 関連するHP</div> <p>https://www.youtube.com/watch?v= JKsymbSDUI</p> <p>https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/index.html</p> <p>https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/research.html</p>		

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	A-6 関連拠点名	核燃料サイクル工学研究所
<p>当研究所は、機構のビジョン「『ニュークリア × リニューアブル』で拓く新しい未来」を実現するために、「原子力の持続可能性（サステナビリティ）」を高めるための「核燃料サイクル」に係るテーマを中心に研究開発を進めています。</p> <p>「核燃料サイクル」とは、一度使った核燃料（使用済燃料）を、特殊な方法で処理して新しい燃料にし、再び原子力発電所でエネルギーを生み出すという仕組みです。これにより、資源を有効に使い、廃棄物を減らすことができます。</p> <p>「核燃料サイクル」を支える技術は主に4つの分野に分かれます。</p> <ul style="list-style-type: none">・原子炉技術：核燃料を燃やして電気を作り出す技術・再処理技術：使用済燃料から、まだ使える核燃料物質を取り出す技術・燃料製造技術：取り出した核燃料物質を使って、新しい核燃料を製造する技術・放射性廃棄物の処理・処分技術：核燃料以外の放射性物質を安全に処分する技術 <p>さらに、役割を終えた原子力施設を安全に解体する「廃止措置技術」の開発にも取り組んでいます。</p> <p>当研究所では、原子炉技術以外の分野の技術開発を進めており、多様で専門的なバックグラウンドを持った研究者・技術者が集まり、協力しながら新しいエネルギーの未来を創っています。</p>		
(2) 業務概要		
<p>【現在取り組んでいる主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none">○核燃料サイクルに係る研究開発・技術開発 高速炉・MA含有MOX燃料の物性研究および製造プロセス開発、軽水炉MOX燃料等の再処理技術開発、高速炉燃料の先進分離回収 (MA分離等)、AI・データ解析を用いた検査・計測技術、保障措置用核燃料物質の非破壊測定技術○東海再処理施設の廃止措置に関する研究開発・プロジェクト推進 除染技術、高線量下での遠隔解体技術、廃止措置分析技術、廃棄物の減容・安定化（ガラス固化体・セメント固化体等）の処理技術開発、廃止措置プロジェクト及び保障処置の合理化・最適化手法の構築、AIを活用した廃止措置技術の体系化○放射性廃棄物の処理・処分、廃止措置に係る研究開発・技術開発 高レベル・TRU廃棄物の処理・処分に係る基盤研究および性能評価、低レベル放射性廃棄物の処分技術の高度化、遠隔ロボティクスを活用した設備解体技術開発、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に係る分析技術・処理技術の研究		
(3) 求める人物像		
<p>○新しい技術開発に果敢にチャレンジし、好奇心・探求心にあふれ、多くの仲間とチームでプロジェクトを推進したいと志している人材。</p> <p>○困難な課題に対して、解決策を前向きかつ柔軟に考えて自発的に行動できる人材。</p> <p>○様々な知識・技術が必要となる核燃料サイクルに関する技術開発、国内初となる大型核燃料施設の廃止措置という長期プロジェクト完遂のため、幅広い分野で学び続けることのできる人材。</p>		
(4) アピールポイント		
<p>核燃料サイクル工学研究所は、MOX燃料開発、再処理、廃棄物処理・処分、施設廃止措置など、原子炉以外の核燃料サイクル技術を総合的に扱う点が特徴です。実験室から工学規模まで段階的に試験できる多様な施設を備え、実際の設備やプロセスに触れながら試験や検証を進め自身の技術を磨き、機構の技術開発に貢献できる環境があります。</p> <p>また、国内外の研究機関との協力・連携も多く、国際的な視点で成長できる機会もあります。</p> <p>2050年カーボンニュートラルやGX（グリーントランスフォーメーション）による産業変革が求められる潮流の中で、核燃料サイクルの技術は今後も重要な役割を果たすことが期待されています。当研究所では、次世代の燃料・再処理技術の開発に加え、東海再処理施設の廃止措置という前例の無い大規模プロジェクトや高レベル放射性廃棄物等の処理・処分に係る研究にも取り組んでおり、社会的意義の高い業務に関わることができます。</p> <p>化学、機械、電気・電子、計算科学・データサイエンス、通信制御、材料、建築・土木、地学、生物学、放射線物理、原子炉物理など、多様な分野の専門家が活躍中です。新卒の方にとっても自身の学んできたことを活かしながら、原子力エンジニアとしての成長、やりがいや実感できる環境が整っています。技術開発と社会への貢献を両立させながら成長したい方は是非ご応募ください！</p>		
(5) 勤務地（採用時予定）		
茨城県（東海村）		
(6) 関連分野		
理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学		
工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学		
その他：		
(7) 関連するHP		
<p>https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html</p> <p>https://www.youtube.com/watch?si=q8qjeHP_vzhAzhIC&v=673VKJ_lfcM&feature=youtu.be</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=G03ZeJsHR3g</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=qrBgTSh15P4</p>		

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A A-7	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	関連拠点名	人形峠環境技術センター
	(2) 業務概要	人形峠環境技術センターでは、原子力施設の廃止措置及び鉱山施設の閉山措置を安全かつ着実に進めるため、核燃料物質、鉱さい等を適切に管理し、六フッ化ウランの譲渡しに向けた準備、ウラン廃棄物の処理・処分、閉山措置に係る技術開発等を進めています。このため、学部を問わず、これらの業務を積極的に取り組むことができる人材を幅広く募集します。
	(3) 求める人物像	学生時代の専攻は問いません。新しい技術の開発や、既存技術の応用に積極的に挑戦し、多くの仲間と協力しながらチームでプロジェクトを推進したいと考えている方を歓迎します。
	(4) アピールポイント	人形峠環境技術センターは、使命を終えた大型核燃料施設の我が国初めてとなる廃止措置の先駆者としてウラン廃棄物を安全に処理・処分するといった今後の日本にとって必要不可欠な研究に取り組んでいます。こうした取り組みを通じて生み出される技術は、将来的に世界の標準となる可能性も秘めています。また、小規模な拠点だからこそ、多様で幅広い業務に携わる機会が多く、実践を通じて専門知識や技術力を身につけることができ、若手のうちから第一線で活躍できるフィールドがあります。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	岡山県(鏡野町)
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/recruit/

A A-8	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	関連拠点名	青森研究開発センター
	(2) 業務概要	青森研究開発センターは、青森県むつ市に本拠地を置き、原子炉施設の管理、環境試料等の極微量元素分析及び分析技術開発を実施するとともに、港湾施設の維持管理やむつ科学技術館の運営管理を行っています。 主な業務の概要は以下のとおりです。 ○原子炉施設（廃止措置中）及び一般施設の管理、品質保証に関する業務を行います。 原子炉施設の運転・保守管理。一般施設の空調設備、冷暖房設備及び電気等機械室設備の運転・保守管理。 建築物・構築物、機械設備及び電気設備の営繕に関する検討及び補修・改修工事の設計並びに施工監理に関する業務等。 ○加速器質量分析装置及び試料前処理装置の機械／電気／化学的な保守・改良、放射性壊変核種を利用した年代測定及び環境評価に関する業務を行います。 ○関根浜港の維持管理に係る業務を行います。 港湾施設等に関する保守計画の立案実行、船舶の入出港・港湾施設の使用状況の管理、対外関係機関との連絡調整に係る業務。
	(3) 求める人物像	・原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深められる協調性を持ち、コミュニケーションを通じて全体の成果に貢献できる方。 ・原子力技術や他の技術を組み合わせ、新たな課題にも創意工夫で立ち向かい解決できるエンジニアを目指し、意欲的にチャレンジしようとする意思のある方。
	(4) アピールポイント	青森研究開発センターは、原子力船「むつ」の原子炉に係る廃止措置及び加速器質量分析装置を用いた極微量元素分析・分析技術開発を実施する約50名程の比較的小規模な組織ですが、個々人の希望に応じて幅広い分野での研究・技術開発の場を提供できる環境があります。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	青森県(むつ市)
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/aomori/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1)業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
A-9	関連拠点名	敦賀拠点（ふげん・もんじゅ・敦賀総合研究開発センター）
	(2)業務概要	<p>敦賀拠点では、大型水冷却炉として国内初の原子炉本体解体に臨む「新型転換炉原型炉ふげん」、および国内初のナトリウム冷却原子炉の解体となる「高速増殖原型炉もんじゅ」の廃止措置を進めています。</p> <p>両施設の廃止措置は、さまざまな課題に挑戦する「正解の未だ無い初めての取り組み」であり、現在は主に以下の作業を進めています。</p> <p>ふげん：原子炉周辺設備の解体・撤去、原子炉本体解体に向けた遠隔解体装置の開発 もんじゅ：タービン・発電機設備の解体・撤去、大型ナトリウム機器解体に向けたナトリウム処理装置の開発</p>
	(3)求める人物像	<p>○廃止措置の完遂という長期的な取り組みに使命感を持ち、課題解決に向けて柔軟かつ前向きに考え、自発的に行動できる方 ○職場の仲間と協力し、チームでプロジェクトを推進・完遂することを志している方 ○技術者としての能力に加え、国内外のステークホルダーとの交流を深めながら、廃止措置事業を進めるバイタリティを持つ方</p> <p>※廃止措置には多様な分野の技術や専門性が求められるため、原子力工学専攻に限りません。</p>
	(4)アピールポイント	<p>敦賀拠点では、「ふげん」「もんじゅ」の廃止措置を通じて、原子力発電所の廃止措置技術の確立・実証を目指しています。現在、「ふげん」では解体工法の一つとしてレーザーを用いた水中切断技術の導入を検討しています。レーザーの魅力は、従来の機械的切断に比べて高精度・高効率であることに加え、遠隔操作による安全性の向上や、放射性廃棄物の発生量低減にも寄与する点です。「もんじゅ」では冷却材のナトリウムの海外処理に向けて、国際協働プロジェクトを積極的に進めています。単なる技術課題の解決にとどまらず、世界の専門家との協働を通じて、グローバルな視野を持つ人材の育成にも取り組んでいるところです。</p> <p>私たちは、廃止措置に必要な多様な技術的課題を解決するだけでなく、効率的かつ合理的なマネジメント体制の構築を目指しています。さらに、これらの取り組みで得られた知見を体系化し、国内外の学会等で広く発信するとともに、ステークホルダーや有識者との交流を深めています。</p> <p>私たちは、まだ確立していない廃止措置を実施し、新たに生じる課題にも常に前向きに挑戦し続けています。私たちは共に、原子力発電所の廃止措置プロジェクトをリードし、日本そして世界の廃止措置のスタンダードを目指すという高い志を持って、大きな社会貢献を果たしていきましょう。</p>
	(5)勤務地 (採用時予定)	福井県（敦賀市）
	(6)関連分野	<p>理学系：<input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系：<input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：</p>
	(7)関連するHP	<p>https://www.jaea.go.jp/04/turuga/ https://www.jaea.go.jp/04/fugen/ https://www.jaea.go.jp/04/monju/</p>

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1)業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
A-10	関連拠点名	埋設事業センター
	(2)業務概要	<p>原子力や放射線の研究は、将来のエネルギー確保や医療・工業・農業に活用され、私たちの暮らしを支えています。研究や医療活動などで発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、持続可能な原子力の研究や放射線利用を目指していくうえで、大変重要な役割を担っています。</p> <p>安全な埋設処分を行うための技術開発では、埋設施設の設計（土木・建築）や放射性核種の環境中への移行解析、原子炉内の中性子輸送計算、放射化計算などのシミュレーションに加え、環境調査（水位・水質測定・地質調査）のためのフィールドワークや化学実験などに取り組んでいます。</p>
	(3)求める人物像	<p>○社会の安全・安心に直結する埋設処分の実現に科学的アプローチで貢献したい方</p> <p>○技術課題に主体的に取り組み、最新の知見を吸収しながら探究を続けられる方</p> <p>○自身の専門性を活かしつつ、関連領域の技術開発や部署間の協働に意欲的に挑戦できる方</p> <p>○技術開発成果を客観的に整理し、社会に向けて分かりやすく発信できる方</p>
	(4)アピールポイント	<p>研究や医療活動などから発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、持続可能な社会を実現するために、国の政策として原子力機構が担う重要な役割の一つです。埋設処分の実現に向けては、設計・解析・実験・フィールド調査などの多様な技術開発に取り組みながら、自ら専門性を着実に高めていくことができます。</p> <p>また、海外でも埋設処分は行われており、IAEA等の国際機関をはじめ、海外の事業者や研究機関等との交流を通じて、最新の研究成果や新たな知見を学ぶ機会もあります。</p>
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6)関連分野	<p>理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：</p>
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/maisetsu/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A	(1) 業務分野名	研究開発拠点における技術開発分野
	A-11 関連拠点名	新試験研究炉推進室
<p>(2) 業務概要</p> <p>新試験研究炉推進室では、福井県敦賀市の「もんじゅ」の敷地内に新たに試験研究用の原子炉を設置するプロジェクトを進めています。新たな試験研究炉は、原子炉から発生する中性子を活用したさまざまな学術的研究をはじめ、技術革新を目指した研究開発、原子力の安全性研究といった研究開発とともに、地域産業との連携、医療用RIの製造、原子力の教育への貢献などが期待されています。</p> <p>新試験研究炉推進室は、この新試験研究炉プロジェクトを京都大学、福井大学と連携し、西日本における原子力を活用した研究開発・人材育成の中核をなす拠点としてふさわしい試験研究炉の設置に向けた設計に取り組んでいます。</p> <p>なお、採用後、3年程度原子力科学研究所で稼働中の試験研究用原子炉JRR-3で運転員等として実践的経験を積んでもらうことがあります。</p>		
<p>(3) 求める人物像</p> <p>○新たに試験研究炉を設計し設置するには様々な知識・技術が求められるため、原子力に限らず、電気、機械、材料、物理、化学などの工学、理学をはじめ幅広い分野の人材。</p> <p>○好奇心と成長意欲を持ち、新しい技術開発に根気強く果敢にチャレンジし続けることが出来る人材。</p>		
<p>(4) アピールポイント</p> <p>国内外で中性子を用いて実験できる設備や施設が減少傾向にあるなかで、日本で約30年ぶりとなる新しい試験研究炉の設置です。日本の技術力の維持・発展への貢献に学术界や産業界のみならず、地域の皆さまからも大きな期待が寄せられています。発電炉を含めても、新しい原子炉の設置に関わることは極めてまれなチャンスです。自らが設計した試験研究炉が広く社会に貢献することを目指し、私たちとともに本プロジェクトを推進しましょう。</p> <p>採用後原子力科学研究所で稼働している試験研究用原子炉JRR-3の運転員等として3年程経験を積んでもらう場合もあり、実践的な知識を十分を習得したうえで、新しいプロジェクトに取り組んでもらえます。</p>		
<p>(5) 勤務地 (採用時予定)</p> <p>茨城県(東海村)</p> <p>※採用後、最初の3年間原子力科学研究所で稼働中の試験研究用原子炉JRR-3で運転員等として実践的経験を積んでもらう場合もあります。</p> <p>※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県(敦賀市)」に移転する可能性があります。</p>		
<p>(6) 関連分野</p> <p>理学系： <input type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物・農学 <input type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：</p>		
<p>(7) 関連するHP</p> <p>https://www.jaea.go.jp/04/nrr/jp/index.html</p>		

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

B (1) 業務分野名

安全管理、放射線管理、核物質管理に関する技術開発分野

- ・従業員の安全管理、事故時の緊急対応
- ・環境・施設モニタリング、個人線量管理、放射線計測器の校正
- ・核セキュリティ管理、計量管理、保障措置

(2) 業務概要

- (1) 安全管理（従業員の安全管理、事故時の緊急対応）
- 機構の研究開発を進めるため、従業員の安全管理や施設の安全対策を行い、現場の安全を守ります。また、最新の安全工学に基づき、リスク分析等を実施し、作業計画への指導を行います。
 - 機構内で火災、設備の故障及び従業員の怪我や体調不良が発生した場合に、状況を把握し、対策を検討し、事態の収束を図ります。また、緊急時の対応能力を常に維持するため、緊急時機材の保守管理や防災訓練を実施します。
- (2) 放射線管理（環境・施設モニタリング、個人線量管理、放射線計測器の校正）
- 施設周辺の住民の方々の安全を確保するため、施設周辺の環境モニタリングを実施します。また、作業における従業員の安全を確保するため、原子力施設内での放射線測定や個人線量を評価します。また、測定・分析に使用する機器の精度を維持するため、定期的に放射線計測器を校正します。
 - 最新の放射線計測技術に基づき、プルトニウム等の超ウラン元素の分析・測定に関する技術開発、内部・外部被ばく線量評価の迅速化・精密化に関する研究、新しい放射線検出デバイス等の開発を実施し、学会や学術論文を通して、電力会社等へ技術を提供します。
- (3) 核物質管理（核セキュリティ、計量管理、保障措置）
- 機構が保有する核物質が盗取等されないように核物質を防護したり、核物質の管理に係る情報システムのセキュリティ確保を行います。具体的には、不審者を発見するための監視に関する高度化や、原子力施設への出入管理を行います。
 - 機構が保有する核物質を測定し、記録して管理します。核物質測定に必要な技術開発を国内外の研究機関等と共同で行います。また、国際原子力機関(IAEA) 等が機構の施設に立入って実施する査察への対応等を行います。

(3) 求める人物像

- 安全管理、放射線管理、核物質管理分野での業務に強い意欲と責任感を持って取り組める人材
- 未経験の業務であっても、課題解決に積極的に取り組める人材
- コミュニケーション能力や専門性に対する向上心を持ち、機構内外で活躍する気概がある人材

(4) アピールポイント

原子力の研究開発には、原子力施設の安全を確保し、周辺住民や従業員の安全を守る業務、プルトニウムやウラン等の核物質の厳格な管理が必要不可欠であり、本分野は原子力機構の根幹を成す業務です。

また、本分野では、実規模の原子力施設の場を用いた測定技術等の技術開発に取り組めることや適性等に応じ、国際機関（IAEA：オーストラリア、ICRP：カナダ）等への派遣の機会があります。さらに、これらの経験を経て、アドバイザーとして、国や自治体等に協力する機会もあります。

(5) 勤務地
(採用時予定)

茨城県（東海村、大洗町）
 福島県（いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町）
 北海道（幌延町）
 岐阜県（土岐市）
 岡山県（鏡野町）
 青森県（むつ市）

(6) 関連分野

理学系： ☒ 数学・情報 ☒ 物理 ☒ 化学 ☒ 生物・農学 ☒ 地学・地球科学 ☒ 量子科学

工学系： ☒ 機械・システム工学 ☒ 電気・電子 ☒ 材料 ☒ 土木建築 ☒ 環境工学 ☒ 原子力工学

その他：医学・保健学、人工知能

(7) 関連するHP

- 福島廃炉安全工学研究所
<https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/post/management.html>
- 原子力科学研究所
<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/houkan/index.html>
<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/hoan/index.html>
<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/magazine/index.html>
- 大洗原子力工学研究所
<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/safety.html>
- 核燃料サイクル工学研究所
<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/houshasen/>
<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/hoan/index.html>
<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/interview/index.html>

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

C	
(1)業務分野名	核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・原子力人材育成支援分野
<p>原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター(ISCN)では原子力科学技術の健全な発展と核兵器・核テロの脅威のない世界の実現を目指して、海外機関と連携した技術開発・協力、人材育成支援、政策研究といった業務にチームワークで取り組んでいます。</p> <p>(1) 核不拡散・核セキュリティ技術開発 IAEA等の国際機関や各国の核不拡散・核セキュリティ分野で活用される技術の開発を国内及び米国・欧州の機関と連携して実施しています。</p> <p>①核鑑識技術開発業務 核鑑識とは、紛失・密輸・盗取、あるいはテロ行為などの現場から押収された核物質(ウラン・プルトニウム)や放射性物質の物理的・化学的特徴を分析し、その出所、履歴、使用目的等を特定することにより治安機関の活動を支援するための技術です。これには、含まれる不純物の化学分析、核物質の「年代測定」のための放射化学分析、電子顕微鏡による形態学的分析、そして得られたデータの解析等があります。今後、現場でサンプリング等を行う初動対応、安価でアジア等で広く活用できる分析技術、プルトニウムの核鑑識技術に拡大して、国際共同研究を通じ、国際パートナーと共に核セキュリティの強化に貢献します。</p> <p>②核検知・核物質測定 将来のIAEA保障措置等に適用可能な核物質の非破壊測定技術、公共施設に仕掛けられた「汚い爆弾」(放射性物質飛散装置)に含まれる核物質・放射性物物質の検知技術、密輸等を意図して遮蔽容器やコンテナの中に隠された核物質・放射性物質の検知技術の開発を通じて核テロの防止や核不拡散の強化に貢献します。</p> <p>③CTBT技術協力 核実験の検知・検証を目的とする包括的核実験禁止条約機関(CTBT)の国際監視システム(IMS)のうち、国内の放射性核種モニタリングステーションと試料測定のためのラボの運用、世界中のステーションの観測データの解析や大気拡散シミュレーションを使った放出源推定解析を行います。また、関連する技術開発・協力も行い、CTBTの核実験検知体制の維持・高度化を通じて非核化に貢献します。</p>	
(2)業務概要	<p>(2) 能力構築支援 アジアを中心とした国の規制機関や国内行政機関・原子力事業者等を対象に核不拡散・核セキュリティに関するトレーニング等の提供をIAEAや欧米の機関と協力して実施し、アジア地域の核セキュリティ・核不拡散の強化に貢献します。トレーニングや実習を効果的にするために核物質防護システムに用いられている機器を備えたISCN実習フィールドやバーチャル・リアリティ(VR)システム等の施設・設備の開発やこれらを活用したカリキュラム開発等にも取り組みます。また、原子炉工学・環境放射線モニタリング・緊急時対応の分野でアジア地域の講師となる人材の育成支援を目的とする研修の企画調整・実施を行います。アジアのSMR等原子力発電の導入に向けた情勢の変化に合わせた事業運営を目指し、パートナー国・組織から頼りにされるセンターになることを目指します。</p> <p>(3) 人材育成支援 国内のニーズや技術動向を踏まえ、研修内容の継続的な改善に取り組み、国内原子力分野を支える人材育成基盤の強化に貢献します。RI・放射線技術者や原子力エネルギー技術者を養成する研修や、国家試験受験のための準備コースの企画・調整・運営を行います。講義・演習・実習を組み合わせた実践的な研修プログラムを構築し、研修の効果向上を図るとともに、講師との調整や受講者対応、講義・実習指導等を行います。また、大学と連携し学生教育支援プログラムの企画・調整・運営をととして、将来を担う人材の育成にも貢献します。</p> <p>(4) 政策研究 国内及び国際的な核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する動向を調査・整理し、技術的知見に基づき国際法や社会科学とも連携した核不拡散・核セキュリティに関する諸課題を分析する政策的研究を通じて関係行政官庁の政策立案を支援する取り組みを行います。</p>
(3)求める人物像	核不拡散、核セキュリティ、もしくは非核化分野、そこで使われている技術、技術開発や国際協力、人材育成支援、政策研究のいずれかに対する関心と好奇心を有し、専門性を身に付けて高めて行こうという意欲、プロジェクトをチームワークでやり遂げようとする責任感と語学を含むコミュニケーション能力、また、これらを活かして将来的にはIAEAやCTBTといった国際機関等への出向や国際共同研究など、国際的な場で活動する意欲のある人材、原子力安全分野の教育研修プログラムの企画調整に関心のある人材を求めます。
(4)アピールポイント	IAEAやCTBTを始めとする海外や国内の行政機関・治安機関との連携を深めながら、原子力の平和利用に不可欠な核不拡散、核セキュリティ、非核化、原子力・放射線安全への貢献に積極的に取り組むというユニークな組織です。多様なスタッフがこれらの取り組みを通じて、この分野の専門家や国際機関等で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県(東海村)
(6)関連分野	理学系: <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系: <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他: 社会科学、人文科学
(7)関連するHP	https://iscn.jaea.go.jp/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

D	(1) 業務分野名	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野
	(2) 業務概要	<p>【D-1 建設に関する分野（土木・建築系、電気・機械系、耐震、地震・津波評価等）】</p> <p>機構が建設又は保有する原子力施設、研究施設等について、耐震、免震、制振等の最新技術工法による建築・土木構造物及び機械・電気設備の設計・構造評価及び施工監理の業務を行うとともに、設計・構造解析手法、建設工法等の最新化・最適化に係る技術開発等の業務を行います。また、規制・基準要求に基づき、地質・地盤構造の調査・解析を行い、地震動・基準津波を策定し、地盤・構造物への影響を評価する業務を行います。</p> <p>【D-2 ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野（土木・建築系、電気・機械系）】</p> <p>原子力施設や研究施設等について、電気設備、蒸気設備、換気空調設備、温冷熱源設備、給排水設備等の運転・保守管理や、営繕（建築物の新築、増築、修繕及び模様替え）に関する設計、施工監理に係る業務を行います。また、機械、電子機器の工作に関する技術開発並びに修理及び保守に係る業務を行います。</p>
	(3) 求める人物像	<p>○施設建設業務やユーティリティ供給などの重要性や意義を理解し、使命感やチャレンジ精神を持って意欲的に業務に取り組むことができる人材を求めます。</p> <p>○自身の専門分野に捉われず、関係者と円滑にコミュニケーションを図り、協力しながら共通の目標に向かって前向きに行動できる人材を求めます。</p>
	(4) アピールポイント	<p>○建設及び工務に関する業務の魅力について、所属する若手職員の感想（アピールポイント）は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・施設建設等を通して国家的なプロジェクトに携われる・業務の幅が広く、様々な場所で業務や人に携われる・一人ではなく、チーム一丸となって業務に当たっている・新しい技術を取り入れ、挑戦する機会が多い・技術職でも研究開発に意欲的で、理解のある人が多い・男女問わず働きやすい環境作りを意識してくれている・若手でも安心してスキルアップできる環境と、整った教育体系がある。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町） 福井県（敦賀市） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

E	(1) 業務分野名	基幹情報システムの運営・技術開発分野
	(2) 業務概要	基幹情報システムは、日本原子力研究開発機構(以下、機構)の業務遂行に不可欠な重要インフラであり、機構の各種情報システムの安全性と信頼性を確保するための情報セキュリティ対策システム、国内外に点在する機構の各拠点を結ぶネットワーク、原子力研究を支えるスーパーコンピュータ、機構業務を支える情報基盤等から構成される。 本テーマでは、基幹情報システムに係る運用・管理、企画(整備計画立案)、システム設計、データ分析・解析、検証等を行うとともに、システム開発(構築・整備)、ソフトウェア開発、情報セキュリティやデジタル化のための技術開発を実施する。また、業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に係る技術的検討、環境構築に従事する。
	(3) 求める人物像	○機構に与えられた使命(存在意義)及びその達成に不可欠な基幹情報システムの重要性を理解し、自らの役割を認識して行動できる人。 ○常に先端情報技術の習得に努め、自身の強みを伸ばすことができる人。 ○他の職員等(システムの利用者)との円滑なコミュニケーションができる人。
	(4) アピールポイント	機微な技術を扱う機構において、機密情報や個人情報の保護、サイバー攻撃からの防御等の業務は、機構の根幹を支える重要な仕事です。また、基幹情報システムの設計や開発、DX推進等にあたり最新技術の導入に従事することで、常に新しい技術の習得や適用が求められ、自身のスキル向上や新たな価値の創造に挑戦することができます。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県(東海村)
	(6) 関連分野	理学系: <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物・農学 <input type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学 工学系: <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input type="checkbox"/> 原子力工学 その他:
	(7) 関連するHP	https://ccse.jaea.go.jp/

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

F-1	(1) 業務分野名	研究開発力強化のための支援・研究開発成果の社会実装分野
	(2) 業務概要	<p>機構で行う原子力の研究開発は、物理、化学、地学、工学など幅広い分野を含む総合分野であり、研究テーマ也多岐にわたる。このため、機構内のリソースだけでは不足する分野について、大学や企業との連携による研究開発力の強化が不可欠である。</p> <p>私たちは、大学や企業との橋渡しを行い、共同研究を推進することで研究開発力を高めている。また、論文や特許などの成果を公開し、社会での活用を進めている。</p> <p>さらに、機構の施設を「共創の場」として活用し、企業や大学とのオープンイノベーションを推進する。創出された成果は、権利化、企業への技術提供、スタートアップ支援などを通じて事業化・社会実装を目指す。こうした取り組みを通じて、産学官連携によるイノベーション創出を実現する。</p>
	(3) 求める人物像	研究開発成果の知的財産化、社会実装、スタートアップ支援、企業連携など、幅広いアプローチで研究開発を支援する業務に意欲的に取り組む人材を求めている。知的財産に関する知識があると望ましいが、学生時代の専攻は問わない。
	(4) アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野を生かしながら、専門外の研究にも直接アクセスできるため、機構全体の研究開発を俯瞰できる。 ・研究開発法人としての活動に加え、産学連携に必要な企業的な営業活動も経験できる。 ・研究開発法人と民間企業の両面の業務を一度に体験できる、他にはないキャリア形成の場である。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6) 関連分野	<p>理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：知的財産管理に関する分野（文系でも知的財産管理に関連する科目を履修したものは可）</p>
	(7) 関連するHP	https://tenkai.jaea.go.jp/index.html

F-2	(1) 業務分野名	原子力科学技術情報の管理及び分析・研究開発推進によるイノベーションの創出に関する業務
	(2) 業務概要	<p>原子力専門図書館を運営するとともに、論文等の情報や特許等知財の一元管理、機関リポジトリとしての発信などを通して機構の研究開発成果の普及と利活用促進を図る。また、研究データの管理・公開に関する業務を実施するほか、論文の引用指標や特許情報等を活用し、機構の強み分析に資する情報を経営層に提供する。また、企業、大学等とのオープンイノベーションを推進し、成果の事業化・実用化（社会実装）を進める。これらの活動により、産学官連携によるイノベーションの創出を目指す。</p>
	(3) 求める人物像	研究開発成果情報の管理・分析や発信、研究データ管理・公開、データベースの連携・開発、図書館サービス等、各種アプローチで意欲的に研究開発の支援に取り組む人材を募集する。司書、知的財産及び情報管理の知識を有することが望ましいが学生時代の専攻は問わない。
	(4) アピールポイント	<p>図書館運営だけでなく、学術情報の収集・管理のスペシャリストとして、制度設計やシステム構築・運用も行うこととなりますので、ご自身の専門性を存分に発揮していただくことができます。また、外部機関とのやり取りが多い産学官連携に関する業務などもあり、研究開発活動を支える基盤として幅広い業務に携わることも可能です。図書館情報学分野の実務経験者が多く在籍しているため、専門的な課題事項なども相談しやすい職場です。新しい知識を積極的に学び、周囲と協力しながら取り組む姿勢をお持ちの方を歓迎します。</p>
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6) 関連分野	<p>理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物・農学 <input type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input type="checkbox"/> 量子科学</p> <p>工学系： <input type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input type="checkbox"/> 電気・電子 <input type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 土木建築 <input type="checkbox"/> 環境工学 <input type="checkbox"/> 原子力工学</p> <p>その他：図書館情報学、知的財産、産学官連携に関する分野（文系も可）</p>
	(7) 関連するHP	https://tenkai.jaea.go.jp/index.html

令和9年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

F-3	(1) 業務分野名	軽水炉研究分野におけるプロジェクトマネジメント分野
	(2) 業務概要	エネルギー基本計画等を踏まえ、軽水炉のさらなる安全性の向上や利用率向上等に寄与できる研究開発を進めるため、研究開発推進部・軽水炉研究推進室では、One-stop窓口機能を活用した産業界の技術課題・ニーズを把握し、課題解決等に向け国・産業界との連携や機構内連携の調整、すなわちニーズとシーズのマッチングと研究開発マネジメントを行っています。具体的には、機構が保有する施設・基盤技術や人材を活用して、取り組むべき課題（既設の軽水炉の長期利用、新技術による軽水炉のさらなる安全性向上、次世代軽水炉（SMR）等の新型炉開発を支える基盤技術（デジタルツイン等））に対して、ステークホルダのニーズ調査と研究活動とのマッチング、短期的・中長期的な対応戦略の立案、機構内活動の活性化等に取り組んでいます。
	(3) 求める人物像	軽水炉分野での研究・技術開発に意欲的に取り組むとともに、産業界等も含めた機構内外の関係者との対外活動にも積極的に取り組む方を募集します。当テーマでは、理工学系の知識を必須としますが、学生時代の専攻は問いません。
	(4) アピールポイント	軽水炉研究推進に係る幅広いステークホルダ（官公庁、産業界、学术界等）の方々と直接コミュニケーションすることができ、いろいろな立場・観点からの軽水炉研究に係るニーズの把握（人脈形成）が可能となり、また幣機構への期待（研究開発現場とのマッチング）に直接的に関与できることは今後の研究者・技術者としての方向性を考えるうえでも貴重な経験になると思います。また、本活動により、原子力エネルギー分野及び放射線利用分野での研究開発を推進し産業界への橋渡しを行うことで、2050年カーボンニュートラル実現を目指すことになり、大変やりがいのある業務です。
	(5) 勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6) 関連分野	理学系： <input checked="" type="checkbox"/> 数学・情報 <input checked="" type="checkbox"/> 物理 <input checked="" type="checkbox"/> 化学 <input checked="" type="checkbox"/> 生物・農学 <input checked="" type="checkbox"/> 地学・地球科学 <input checked="" type="checkbox"/> 量子科学 工学系： <input checked="" type="checkbox"/> 機械・システム工学 <input checked="" type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建築 <input checked="" type="checkbox"/> 環境工学 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力工学 その他：
	(7) 関連するHP	https://tenkai.jaea.go.jp/index.html